

Contents

はしがき	iii
Unit 1: When Do You Eat?	2
—アフタヌーン・ティーってお茶の時間?—	
Unit 2: Before You Go to England	8
—イギリスはどこにあるのか—	
Unit 3: Future of the Shopping Mall	14
—なんでも買えるお店はどこにある?—	
Unit 4: Basic of Apartment Renting	20
—世界の借家事情—	
Unit 5: Is That Really English?	26
—それってホントに英語なの?—	
Unit 6: Dining Out: East and West	32
—「私がおごります」は失礼になる時もある?—	
Unit 7: Careers and Promotions	38
—年功序列と実力主義、どちらがいい?—	
Unit 8: Bath or Shower?	44
—あなたは風呂派? それともシャワー派?—	
Unit 9: White=Right?	50
—美白の魔力、白い肌が美しいというのは世界の共通か?—	
Unit 10: Money and Modern Weddings	56
—経済力と結婚の厳しい現実—	
Unit 11: Subway Around the World	62
—世界の地下鉄を乗りこなそう—	

Unit 12: Work Hours	68
—生きるために働くのか、働くために生きるのか—	
Unit 13: Female Leaders	74
—女性と仕事—	
Unit 14: Virtual Reality	80
—視覚と触覚の狭間で—	
Unit 15: School Years Around the World	86
—新学年は4月から？ 9月から？—	

**Know the Differences,
Broaden Your World!**

Unit 1

When Do You Eat?

—アフタヌーン・ティーってお茶の時間?—

Reading



Japanese know “tea” as a drink, but in both Britain and Australia, it can mean “meal” or “snack time” as well. Australians eat breakfast, lunch, afternoon tea, (evening) tea, and finally supper before going to bed. London hotels commonly hold an “afternoon tea” of sandwiches and pastries; this is a popular event among visiting Japanese.



Dining times and meal sizes also vary among countries and regions. In South America, for example, the evening meal may begin as late as 9:00 or 10:00 p.m. On the other hand, in Greece people have a very heavy noon meal, but only a light supper of bread and cheese before bed.



In some cultures, meal times can also be affected by religious customs. In Islamic countries, during the month of Ramadan, people do not eat anything during the daylight hours, but may drink water. When the sun sets, however, they can have very large meals consisting of meats, fruits, pastries and other dishes.



Notes

commonly 「普通」 **pastries** > pastry 「パイやタルトなどの菓子」 **vary** 「異なる」 **as late as...** 「…になってようやく」 **on the other hand** 「他方」 **Ramadan** 「ラマダーン」
イスラム暦の第9月 日の出から日の入りまで断食が行われる。 **consisting of...** > consist of... 「…から成る」

Build Up Your Vocabulary

以下に挙げる本文中に使われた語を 1) ~ 5) の () に補いなさい。

【 culture / autumn / affected / meal / consists 】

- 1) My father and mother took me out for a ().
私の両親は私を食事に連れて行ってくれた。
- 2) Leaves turn red or yellow in ().
秋には木の葉が赤や黄色になる。
- 3) The bad weather () the baseball player's performance.
悪天候がその野球選手のプレーに影響を与えました。
- 4) The () of ancient China was highly advanced.
古代中国の文化はきわめて高度なものだった。
- 5) Our product lineup () of 35 items, ranging from pasta to dessert.
製品はパスタからデザートに至るまで、35 品目の品揃えです。

Check Your Understanding

以下の質問に日本語で答えなさい。

- 1) イギリスやオーストラリアで「ティー」とは何を意味しますか。
- 2) ギリシアの人たちは、どんな食事をとっていますか。
- 3) イスラム教のラマダーンの際、人々はどんな食事をとりますか。

Grammatical Point

◆ 品詞と文要素の関係 ◆

【品詞】

英語には8つの品詞がありますが、その内の4つをまず学習します。以下の品詞の働きを考え、()に番号を入れましょう。

✍ Drill (1)

名詞：() 動詞：()

形容詞：() 副詞：()

- (1) 名詞を修飾する (2) ものの名前や事柄を表わす
 (3) 名詞以外を修飾する (4) 動作、状態などを表わす

以上4つの品詞が重要なのは、これから英語を勉強する際に頻繁に登場する文型や文構造と密接に関係しているからです。ではこの品詞が文型を決定する4つの部分(主語、動詞、目的語、補語)とどのように関わっているのでしょうか。以下の表の名詞、動詞、形容詞の3つがそれぞれどの部分に深く関わっているのでしょうか。

【文要素】

主語(S)	述語動詞(V)	目的語(O)	補語(C)
名詞 (名詞相当語句)	動詞	名詞 (名詞相当語句)	名詞(名詞相当語句) 形容詞(形容詞相当語句)

これらの4つの要素は以下のような5つの文型をとります。まずこの章では、1文型から3文型まで学習しましょう。

- ・主語+動詞 (S+V) … 1文型
- ・主語+動詞+補語 (S+V+C) … 2文型
- ・主語+動詞+目的語 (S+V+O) … 3文型
- ・主語+動詞+目的語+目的語 (S+V+O+O) … 4文型
- ・主語+動詞+目的語+補語 (S+V+O+C) … 5文型

■ 1文型：主語+動詞(十修飾語句)

「SがVする」という主語と動詞が中心的に働きます。そのほか修飾語句がついた文型です。修飾語句が長くなる場合がありますので気を付けてください。

(1) The pupils sang <side by side>.
主語 動詞

(子どもたちは並んで歌った。)

(2) The young assistant talked <fast>.
主語 動詞

(その若いアシスタントは早口で話した)

このように、第1文型というのは主語と動詞から成り立ちます。5つの文型の中で一番単純です。これら例文に加えて、There is X. (There are Xs) という文も1文型です。

(3) There is a memo <on the desk.>
 (机の上にメモがある)

■ 2文型：「AはBです」：A=Bを表す英文パターン (SVCの文型)

「SはCです」という文です。主語と補語の間にbe動詞がおかれるのが普通です。

主語(S) 動詞(V) 補語(C)
 (1) Tokyo is the capital of Japan. (C=名詞)
A = B
 (東京は日本の首都です)

主語(S) 動詞(V) 補語(C)
 (2) The picture is expensive. (C=形容詞)
A = B
 (その絵画は値段が高い)

ポイントは2つあります。①等記号(=)の役割をしているのはbe動詞です。この働きをする動詞はremain(～のままである)、seem(～のように思える)、become(～になる)など。②補語になっているものは名詞か形容詞になります。例文(a)の場合=the capital(名詞)、例文(b)の場合=expensive(形容詞)となっています。

■ 3文型 「SがOをVする」(SVOの文型)

動詞の後に何を食べたのか、あるいは誰に話しかけたのかが述べられています。これら「何を」、「誰に」あたる名詞を置いています。これらの名詞は目的語と呼ばれている文の主要素です。

(1) I ate a banana.
S(主語) V(動詞) O(目的語)

(私はバナナを食べた)

(2) She knows my secret.
S(主語) V(動詞) O(目的語)

(彼女は私の秘密を知っている)

✍ Drill (2)

次の各文が1文型から3文型の、どの文型に相当するかを答え、それぞれの文の日本語訳を記しなさい。

- 1) This wine is very expensive. [] 文型
- 2) He met Ken at the park. [] 文型
- 3) My father is in his study room. [] 文型
- 4) She certainly seems happy. [] 文型
- 5) Their son attends a boarding school. [] 文型

SVCの文型でCに名詞が来る場合があります。その際、SVOの文型と区別しなければなりません(SVOのOは常に名詞です)。次の例文を考えてみましょう。

- (1) She **has become** a nice young lady.
- (2) She **met** a nice young lady.

例文(1)では動詞がbecame(～になった)という意味で、主語「少女」が成長して「素敵な女性」に「なった」ということを表しています。それに対して例文(2)では「少女」が「素敵な女性」に「出会った」という意味を表しています。例文(1)の場合、「少女」と「素敵な女性」というのは同じ人物で、例文(2)の場合「少女」

と「素敵な女性」は別人です。

- 例文(1)' She = a nice young lady
例文(2)' She ≠ a nice young lady

① Cultural Information!

愛称(ニックネーム)

日本ではごく親しい友人を、ニックネーム(あだ名)で呼びます。その場合、本名となんら関係の無いニックネームが付けられる場合があります。しかし、名前と関係のあるニックネームが付けられる場合も多くあります。イギリスやアメリカでも名前を省略して、愛称として使う場合が多々あります。どのようなものがあるのでしょうか。男性の場合、Harold(ハロルド)がHarry(ハリー)、Edward(エドワード)がEd(エド)、Theodore(セオドア)がTed(テッド)などになります。女性の場合、Charlotte(シャーロット)はLotty(ロティ)、Deborah(デボラ)はDebbie(デビー)になるのが一般的です。Elizabeth(エリザベス)の場合、Lis(リズ)、Beth(ベス)、Betty(ベティ)といずれかになることが多いでしょう。これらは本名からの変更の代表的なものです。これらは正式な名前の一部を使っているため、なんとなく想像がつくものばかりです。その他代表的なものを考えましょう。(Q)以下に挙げる①～⑤までのニックネームをそれぞれ選びましょう。

(Q)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1) Anthony (アンソニー) | 2) Catherine (キャサリン) |
| 3) Daniel (ダニエル) | 4) Jacqueline (ジャクリーン) |
| 5) Albert (アルバート) | |

- | | |
|----------------------------------|--------------|
| ① Bert (バート) | ② Tony (トニー) |
| ③ Jackie < または Jacquie > (ジャッキー) | |
| ④ Cathy (キャシー) | ⑤ Dan (ダン) |

ですが、ニックネームとなっているものが、実は本名だったりする場合もあるので、気をつけて使ってください。また、日本と同じように、イギリス、アメリカには本名からは想像できないような個別に起こったことを元にしたニックネームもあるでしょう。ニックネームを使えるぐらいの親しい間柄になってから使いましょう。